

東京地本闘争委員会FAX速報



JR東労組東京地本闘争委員会
2018 3.15
No.91

JR東労組八王子・水戸・東京地方本部 18春闘勝利!!JR東日本会社の不当労働行為を断固として許さず 組合員を守るために組織の総団結で立ち向かう3・14総決起集会



3月14日 赤羽会館

JR東労組は「所定昇給額」を算出基礎にしないベースアップ等の実施を求め、団体交渉を進めてきました。そして「闘争1号」において「ベアの実施にあたっては、これまでベースアップの算出基礎にしてきた『所定昇給額』にこだわらない」と一定の前進が図れたことは成果です。一方会社は「社員の皆さんへ」や「勤労速報」また、連日のように会社経営幹部による職場での訓示において、JR東労組に対して批判・威嚇・介入を行い、脱退強要が公然と行われています。このことは、正当な組合活動に対する支配介入の不当労働行為です。

JR東労組は、日本最大級の組織破壊に立ち向かい、会社が推し進める生産性向上や4万人体制に対して、目を向けていかなければなりません。そして、施策実施に向けては、「施策実施に関する確認メモ」や「新たな30年を展望する施策実施に向けた確認メモ」に則り、これまで通り向き合います。

今集会では、職場からの報告で「労使共同宣言を破棄する通告をしてきたが、この間、労使共同宣言の精神を踏みにじってきたのは会社だ!」「たたかう東労組を残さなければならない!」「監視カメラは、安全を守れない!本来業務に集中できない!落ち着いて休めない!」「今は、組合員との信頼関係を築いていくべきだ!」「今後の労使関係の基礎的条件の6項目は納得できないし、認められない!組合員の利益も安全も守れない!」「私たちは絶対に御用組合にならない!」など、怒りの声が出されました。

八王子・水戸・東京の3地本は、格差ベア根絶の成果を確認し、違法な脱退強要や不当労働行為には屈せずたたかいます。そして、安全で安心して働ける明るい職場の構築に向けて、たたかいを推し進めていきます!

全組合員と共に不当労働行為根絶に向けてたたかおう!